

## 平成28年広川町議会第1回定例会会議録

1. 招集年月日 平成28年3月3日
2. 招集場所 広川町議会議事堂
3. 開 会 平成28年3月4日（午前9時30分）
4. 応招議員

議長	野村泰也	6番	原野利男
1番	中尾千枝	7番	梅本哲
2番	丸山修二	8番	神山章憲
3番	川島忠孝	9番	稲員信幸
4番	光益良洋	11番	佐々木四十臣
5番	池尻浩一	12番	江藤龍彦

5. 不応招議員

10番 野田成幸

6. 出席議員

応招議員に同じ

7. 欠席議員

不応招議員に同じ

8. 地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席をした者の氏名

町 長	渡 邊 元 喜	住 民 課 長	藤 島 達 也
副 町 長	飯 田 潤一郎	福 祉 課 長	坂 本 幸 枝
教 育 長	吉 住 政 子	建 設 課 長	竹 下 勝 博
会 計 管 理 者 兼 税 務 課 長	山 下 壽 弘	産 業 振 興 課 長 兼 農 業 委 員 会 事 務 局 長	酒 井 和 哉
総 務 課 長 兼 選 挙 管 理 委 員 会 書 記 長	藤 島 弘 義	環 境 衛 生 課 長	野 田 稔
政 策 調 整 課 長	丸 山 信 夫	教 育 委 員 会 事 務 局 次 長	山 下 俊 子
協 働 推 進 課 長	丸 山 英 明		

9. 本会に職務のため出席した者の氏名

議 会 事 務 局 長	栗 原 福 裕	書 記	樋 口 信 吾
書 記	井 上 俊 明		

10. 議事日程

日程第1 一般質問

---

午前9時30分 開議

○議長（野村泰也）

おはようございます。定刻になりましたので、ただいまから本日の会議を開きます。

10番野田成幸議員から本日の会議に欠席する旨の届け出が出ております。

本日の日程は、お手元に配付しております議事日程第2号のとおりであります。

日程第1 一般質問

○議長（野村泰也）

日程第1. 一般質問を行います。

1番中尾千枝君の登壇を求めます。

○1番（中尾千枝）

皆様おはようございます。1番中尾千枝でございます。初めての一般質問で、多少緊張し

ておりますが、どうかよろしくお願いたします。

では、通告どおり、広川町の近隣の医療状況についてお尋ねいたします。

昨年度の国勢調査の実施により、いよいよ日本全体の人口減が始まったことが明らかになりました。これから数十年で直面する少子化、そして高齢化が我が広川町でも進行することが考えられます。その対策として、本町も先月2月に策定されました広川町まち・ひと・しごと創生総合戦略の新たな取り組みが来年度から始まり、新事業として、特定不妊治療費の助成や子育て支援策の充実など、今後、女性が子供を産みやすい、育てやすい環境づくりに力を入れてもらえるとのことで、私としては大変喜ばしいことと考えております。

特に、今後ますます進むであろう晩婚化と、それに伴う高齢出産の増加のため、特定不妊治療の助成事業の必要性を強く感じております。ぜひとも我が広川町のこれからの取り組みをアピールしていき、何としても若い30代カップルの移住、定住につながるよう取り組んでいただきたいと思います。

そうした中、女性が子供を産んだ後の広川町を取り巻く小児医療が少々気になるところであります。今後の重要政策になるであろう、女性が子供を産んだ後の子供の医療がどうあるべきかを考えていかねば、若い女性の今後の定住を促すことにつながっていかないように思います。

幸いにして、広川町には、八女市や久留米市に20分以内でぐあいの悪くなった子供を時間外診療で診ていただける病院があり、地理的にも大変恵まれています。やはり若いお母様方が、自分のお子さんが緊急に病気になったとして、冷静に対応できるのはそれぐらいの時間内であるだろうと想像できますので、本町が連携しております公立八女総合病院の存在は大変ありがたいものだと思います。

しかしながら、きのうの原野議員の御質問にもありましたように、公立八女総合病院との連携に関しましては、残念ながら経営状態や医師の確保の問題もあつたりと、最終的に若いお母さん方の信頼を獲得するまでには行き着かない状況があるのではと思います。そういったことを踏まえながら、原野議員の御質問と重複する部分もございしますが、公立八女総合病院の受診状況、収益状況を小児科に特化してお尋ねいたします。

あとは質問席にて行います。よろしくお願いたします。

○議長（野村泰也）

町長。

**○町長（渡邊元喜）**

おはようございます。中尾議員の小児医療についての質問でございます。

きのう、原野議員への回答にもありましたが、公立八女総合病院の受診状況につきましては年々減少傾向にあります。収益状況につきましても、25年度から事業収支が毎年赤字経営となり、特に26年度実績及び27年度見込みの赤字が多くなっています。

小児医療につきましては、基本的には診療はかかりつけ医を受診し、必要があればかかりつけ医から病院を紹介するという考え方で、国の医療制度の組み立てがなされています。公立八女総合病院では、外来に加え、入院治療を要する小児科の診療が行われています。また、夜間小児救急医療は、八女筑後医師会の協力医の先生に当番制にて月曜日から金曜日までを公立八女総合病院と筑後市立病院での交代制で実施されています。日曜、祝日の小児科救急医療につきましても、筑後市立病院と交代で実施されています。

以上でございます。よろしく願いいたします。

**○議長（野村泰也）**

中尾千枝君。

**○1番（中尾千枝）**

公立病院は、週に月曜、水曜、金曜日だけの夜間小児救急であり、残りの火曜、木曜日の時間帯は筑後市立病院に委託しているものとお伺いしておりますが、曜日を分けて診療するのではなく、毎晩診てもらえるほうが安心するお母様方が多いと思われるんですけども、医師の確保の問題と関連があるとは思いますが、こういったことが女性の定住につながっていくと思いますし、このことに対して企業団への働きかけは広川町としてどのようになさっていらっしゃいますか。

**○議長（野村泰也）**

住民課長。

**○住民課長（藤島達也）**

今、言われましたとおり、公立八女総合病院では月、水、金、筑後市立病院では火、木ということで、午後7時から午後10時までの対応をしているところでございます。

その中で、やっぱり八女筑後医師会という圏内の中で、医師会の先生方からその時間帯に公立病院、市立病院のほうに出張していただいて協力いただいているということで、毎日、診療といたしますか、そういうことについては、ちょっと医師不足とか、そういうことで、ま

ず無理ではないかと思えます。

あと日、祝日につきましても、9時から3時までの対応ということで、こちらもやっぱり八女筑後医療圏という、その医療圏の中で、公立病院と筑後市立病院が協力して対応しているということで、町としましても、なるべく対応をしていただきたいとは思っておりますが、そのような対応になるかと思えます。

以上です。

○議長（野村泰也）

中尾千枝君。

○1番（中尾千枝）

先ほど御答弁いただきました中の連携していく近隣の市町村なんですけれども、その中にあります病院の小児科の受診状況などはどれぐらい把握されていますでしょうか。

○議長（野村泰也）

住民課長。

○住民課長（藤島達也）

公立病院では、小児医療についての受診率というのは、きのう、原野議員にお答えした中で、まとめた数字しか出ないということで、公立病院が出ないということでございましたが、夜間診療と日、祝日の診療につきましては、26年度の実績では、公立八女総合病院が648件で、筑後市立病院が346件の運用時間内が994件で、うち広川町が91件の診療となっております。運用時間外につきましても、八女と筑後合わせまして242件の受診となっております。

広川町の住民の方の受診につきましては、日、祭日、夜間の受診率は91人ということで、全体の比率は9.2%となっております。

以上です。

○議長（野村泰也）

中尾千枝君。

○1番（中尾千枝）

公立八女総合病院なんですけれども、平日の月、水、金における、午後7時から10時までにおける受診状況が61件ということで出しているんですが、10時以降の受診状況はわかっていらっしゃいますでしょうか。

○議長（野村泰也）

住民課長。

○住民課長（藤島達也）

10時以降につきましては、各病院で夜間担当の先生がおられますので、そちらのほうで担当をしておられます。だから、いらっしゃる先生が小児科医の先生とは限りませんので、別の先生もいらっしゃるようになります。その中で、運用時間外の診療につきましては、公立八女総合病院が143件、筑後市立病院が99件の計242件ということで、そのうち広川町の方は1件ということになっております。

以上です。

○議長（野村泰也）

中尾千枝君。

○1番（中尾千枝）

先日、公立八女総合病院に問い合わせたところ、夜間帯における受診状況を数字で出していただけて、実は広川町が昨年度、平成26年からの1年間なんですが、小児救急医療なんですけれども、1件しか受診をされていないという状況がわかってきているんですけれども、それに対しまして、久留米の聖マリア病院なんですが、18時から翌8時までで15歳未満の受診数なんですが、440件という数字が出ています。公立八女総合病院の小児救急医療の受診に若いお母様方が行かれないという理由を、町としては何か分析をされていらっしゃいますでしょうか。

○議長（野村泰也）

住民課長。

○住民課長（藤島達也）

地域的なこともあるかと思いますが、先ほど言われました運用時間外ですかね、その時間が1名の受診ということでございますが、やっぱり小児科の専門医の方が10時以降は今いらっしゃるということで、もっとやっぱり大きな医師の確保ができる聖マリアとか、そういうほうに、お母さん方は小児科医の先生に診てもらいたいということで、10時以降の受診については久留米のほうに行かれているのではないかと思います。

以上です。

○議長（野村泰也）

中尾千枝君。

○1番（中尾千枝）

ありがとうございます。

広川町の現状や長期ビジョンを踏まえた上で、公立八女総合病院をめぐる八女市との連携のあり方と申しますか、いま一度見直すことがたくさん来ているように思われるんですけども、きのうの原野議員の御質問と重複する質問ではございますが、現時点での町としてのお考えはどのように考えていらっしゃるのでしょうか。

○議長（野村泰也）

住民課長。

○住民課長（藤島達也）

町としまして、公立病院と申しますと、やっぱり地域医療の核となるものでありまして、先ほどの回答にもありましたとおり、地域の病院とか診療所の中から公立病院等に紹介を、小児科に限らず、紹介をされて受診を受けるというのが体制になっておりますが、全体を言いますと、紹介患者数が4,778件、初診患者数が8,316件で、紹介率が56.9%。あと逆紹介ですね、今度は公立病院のほうから地域の中の病院とか診療所への紹介の割合ということで、地域の医療所とか病院に診療情報提供書算定数が8,275件、あと初診患者をまた地域の医療機関に返していくという患者数が8,396件ということで、逆紹介と言いますが、公立病院から地域の医療機関に紹介していく率が98.6%ということで、やっぱり地域医療を確保していくには必要なことと思います。

それとあと、きのう、町長が回答しましたように、やっぱり住民の方の要望とか、そういうのを十分把握しながら考えていかなくてはいけないと思っております。

以上です。

○議長（野村泰也）

中尾千枝君。

○1番（中尾千枝）

きのうの原野議員と町長の御答弁の中でやりとりがありましたように、民間移譲という言葉も出ましたが、そういった可能性もあるというふうに考えてよろしいでしょうか。

○議長（野村泰也）

町長。

○町長（渡邊元喜）

今の段階では、そういう話は全くありません。いかにして公立八女総合病院を立て直すかということは今検討しているわけですが、根本的に考えていただければわかると思いますが、医師不足なんですね。県知事に懇談の場があったときに、医学生に奨学金を出してもらいたいというふうに私は要望をしましたが、奨学金を受ける医学生はいませんよということです。どういうことかという、奨学金をもらわなくてもいい人ばかりなんですね。奨学金をもらおうと、あとは出したほうの意向に沿って、僻地にも勤務してくださいよというお願いができるんですけれども、奨学金をもらう人がいないということは、どうしても都会へ、都会へと医師は有利なところに行くという傾向がありまして、なかなか地域では、今、医師不足が多発いたしておりますので、全国的に地域の人たちは困っている。政府が医師を減らしてきたんですけれども、今度、医学生をふやすということでふやしておりますけれども、結局、何でもかんでも一極集中になっているような気がしますから、根本的なところから変えていかざるを得ない。テレビドラマでは、なかなかそういった気概のある人が地域医療に、僻地にというのがドラマでよくありますけれども、現実にはありません。そういったことを考えながら、公立病院にはその中でも医師の確保を頑張っていたいただきたいというお願いはしておりますけれども、これはもうお願いだけの問題で、また公立病院もしっかりと努力していますけれども、いろいろな問題があろうかと思えます。

それで、一番考えなくてはならないのは、私たちの病院という思いがあるならば、やっぱり公立病院に診てもらいに行くというのが一番大事かと思えますけれども、今度は自分の命を考えると、どこに行きたいということになるかと思えますから、その辺が複雑ですから、議員の質問にはなかなかお答えはできません。

**○議長（野村泰也）**

中尾千枝君。

**○1番（中尾千枝）**

町長のおっしゃることがよくわかります。以前、旧武雄市民病院など、経営が過去に悪化して民間移譲したという例がございますが、武雄市の場合、民間移譲を行ったために、逆に大学病院から遠のいてしまって、医師の確保が難しくなったという診療科があるとお聞きしております。

こういったことも踏まえて、町長の御答弁にもございましたように、住民のために最適な選択というのが何なのかということが一番考えていかなければならないのではないかと

うふうに私も考えております。今後の八女市との協議もあると思いますが、広川町の住民のために何が一番重要なことなのかというのをしっかりお願いして、私の一般質問を終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

**○議長（野村泰也）**

以上で一般質問を終わります。

以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。

なお、10時より役場3階大会議室において全員協議会を開催いたしますので、どうかよろしくお願いいたします。

また、7日は午前9時30分から開議いたします。どうもお疲れでございました。

**午前9時51分 散会**